

暮らし・平和・人権、未来社会

日本共産党

いま日本を変える歴史的チャンス

暮らし・経済

アベノミクスがもたらした“どん詰まり”
「暮らし応援」の「経済再生プラン」で
政策の転換を

日本共産党は、どん詰まりの自民党政治を打開しようと昨年9月「経済再生プラン」を打ち出しました。

①政治の責任で賃上げと待遇改善をすすめる②消費税減税、社会保障充実、教育費負担軽減③気候危機打開、エネルギーと食料自給率向上の3つの改革が柱です。詳しくは、日本共産党のホームページをご覧ください。

平和

憲法9条にもとづく平和外交を進める
日本へと転換を

日本共産党は4月に「東アジアの平和構築への提言」を発表しました。提言は軍事同盟の是非についての立場の違いを超えて緊急にとりくむべき内容を提起、軍事同盟のもとでも実現可能な提案です。戦争への道にきっぱり反対を貫くとともに、世界の道理にたって平和の対案を示し、その実現のために行動する党—日本共産党を伸ばすことこそ、日本とアジアの平和をつくる最大の力です。

未来社会

資本主義の危機
社会主義・共産主義の展望

世界でも日本でも、資本主義がもたらす害悪が深刻となっています。日本共産党は、資本主義をのりこえた未来社会—社会主義・共産主義を展望しています。マルクスは、未来社会の最大の特徴は「人間の自由で全面的な発展」と解明しました。ルールなき資本主義から、人間を大切にする経済社会へと変革し、その先にある未来社会への道とともに開こうではありませんか。

日本共産党の田村智子委員長は、日本共産党102周年記念講演で、自民党政治に変わる日本共産党の暮らし、平和、人権、未来社会の展望を語りました。



田村智子
日本共産党委員長

ジェンダー平等

人権後進国から先進国へ

ジェンダー平等、人権をめぐる、日本でも世界でも大きな前進がはじまっています。

日本共産党は4年前の綱領一部改定で「ジェンダー平等社会をつくる」「性的指向と自認を理由とする差別をなくす」ことを掲げました。

人権後進国から先進国へ、それは憲法をまもり生かす政治と一体のものです。

この憲法を実現する政治へと転換し、人権先進国へ、日本共産党とともにすすみましょう。



もとむら伸子衆院議員 すやま初美比例予定候補
比例東海2議席以上の実現で

日本共産党の比例東海ブロックでは、もとむら伸子衆院議員、すやま初美東海比例予定候補が、自民党政治を変える先頭にたってがんばっています。

